

令和4年度 宮城県農業高等学校「志教育」年間指導計画

「◎」特にあてはまる
「○」あてはまる

3つの視点			かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす		
各教科指導目標	国語	○	○		地理歴史	○	○		公民	○	○	数学	○	○		理科	◎	○	
	国語を適切に理解し表現することで、伝え合う力を高めるとともに、思考力や創造力を伸ばして心情を豊かにし、総合的な言語能力を養う。			わが国と世界各国の文化・風土・歴史を学び、自他の違いを認識し、国際社会において積極的に活動できる資質を養う。			現代社会の仕組みを理解し、自己理解を深めながら、現代社会における自己の役割を果たせる公民としての資質を養う。			数学的な活動を通して、数学的に考察する能力を高め、論理的に判断し、見通しを立てて、問題を解決する能力を育てる。			科学的な自然観と探求心を身につけることにより、自然と人間社会との関わりおよび自然に対する畏敬の念を育て共存する能力を育成する。						
	保健体育	○	○		芸術	○	○		外国語	◎	○		家庭	○	○		情報	○	○
	心と体を一体としてとらえ、生涯にわたって健康の保持増進を図り、明るく豊かで活力ある生活を育む態度を育てる。			わが国と世界の芸術文化を学び、感性を高め互いに尊重しあえる資質と豊かな情操を養う。			外国語を通じて、外国の文化に対する関心を深めるとともに、情報や考えを適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う。			社会と家庭とのかかわりについて経験と理解を深め、生活に必要な知識と技術を取得させる。男女が協力して生活を創造する能力と実践的な態度を養う。			情報化が社会に及ぼす影響を理解させるとともに、情報技術を適切に活用する能力を養い、社会の情報化に対応できる態度を育てる。						
農業	○	◎	○	工業	○	○													
農業に関わる基礎的な知識や技術を習得するとともに、自然環境や地域社会における農業の関わりを理解し、実践的に役立てる能力を養う。			工業の意義や役割を理解させ、環境を考慮した工業と社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てる。																
学年共通									各学年指導目標										
指導内容	①あいさつの励行		◎	○		1年	○基本的生活習慣を身に付けさせる。 ○基礎学力を身に付け、主体的に学ぶ姿勢を養う。 ○自分を知り、進路を切り開く自立の心を育てる。												
	②登校時間、始業時間の徹底		○	◎															
	③服装、頭髪を整える		○	◎	2年	○基本的生活習慣を確立させる。 ○学習計画を立て、実践する態度を養う。 ○自己の職業的適性を把握し、将来設計を立てる。													
	④提出物の徹底		○	◎															
	⑤朝読書の徹底		○	◎	3年	○自己の能力、適性を的確に判断し、卒業後の進路を決定する。 ○進路実現を図るため、諸課題を明らかにし、実践する。 ○社会人としてのモラルと行動力を身に付ける。													
指導内容		ねらい			指導教科等		実施時期	時数	かかわる	もどめる	はたす								
1年	進路講話	高校生活のスタートにあたり、学習習慣、生活習慣の確立と進路意識の高揚をはかる。			特別活動	4月	1	○	○										
	進路の手引活用講習	本校で作成している進路の手引の有効的な活用と自己の進路探求のきっかけとする。			特別活動	5月	2	○	○										
	自己理解	自己の性格、長所・短所、適性などを自身で理解し以後の進路選択に生かす。			特別活動	6月	2	○	◎										
	職業調べ・職業理解	自己理解や興味関心をもとに、様々な職業について情報収集をし、職業を理解する。			特別活動	10月	3	○	◎										
	進路ガイダンス	模擬授業や体験型学習を通して自分が希望する職業への理解を深め、進路選択の一助とする。			特別活動	11月	2	○	◎										
	ライフプラン作成	将来の生き方や職業、生活スタイルなどを意識しながら人生設計の深化をはかる。			特別活動	2月	2	○	◎	○									
2年	進路探求ワークショップ	求人票や学校案内、受験報告など関連資料を参考に自己の進路探求を深化させる。			総探	5月	2	○	○										
	キャリアプランの作成	これまでの進路学習の成果をまとめ、希望の進路を実現していくスケジュールを立てる。			特別活動	6月	2		○										
	就職試験の実際	1年後の就職試験を想定した模擬試験を実施し、自己の実力を客観的に判断する			特別活動、総探	7月	1	○	○	◎									
	インターンシップ	就業体験を通じて職業や職業人の実際を経験し、自己の進路決定の一助とする。			総探	11月	5	○	○	◎									
	進路別ガイダンス	進路希望の具現化を目指し、外部講師によるガイダンスと進路先研究を行う。			総探	12月	2	○	○										
	先輩から学ぶ	「先輩の話を聞く会」を通じ、直後の進路決定と進学や就職の試験への意欲喚起を促す。			総探	1月	2	○	○										
3年	進路別ガイダンス	自己の進路希望に合わせた具体的な説明を外部講師から受け、進路意識の高揚を図る。			学年行事	4月	2		◎										
	就職試験の実際	1年後の就職試験を想定した模擬試験を実施し、自己の実力を客観的に判断する			特別活動、総探	7月	1	○	○	◎									
	上級学校・職場等見学	自分の受験する学校や職場が決定した生徒が学校や職場を見学し自己の意思を固める。			特別活動	7月	2	○	○										
	進路別講習	それぞれの進路に応じた課題に取り組んだり講義に参加し実力養成を図る。			特別活動	7月	2	○	○										
	進路経験のまとめ	これまでの自分や進路決定までを振り返りまとめることで将来の生き方の指針とする。			総探	12月	2	○	◎	◎									
							合計時数	35											